

個人投資家向け説明会

2025年2月21日

株式会社FRONTEO

証券コード：2158

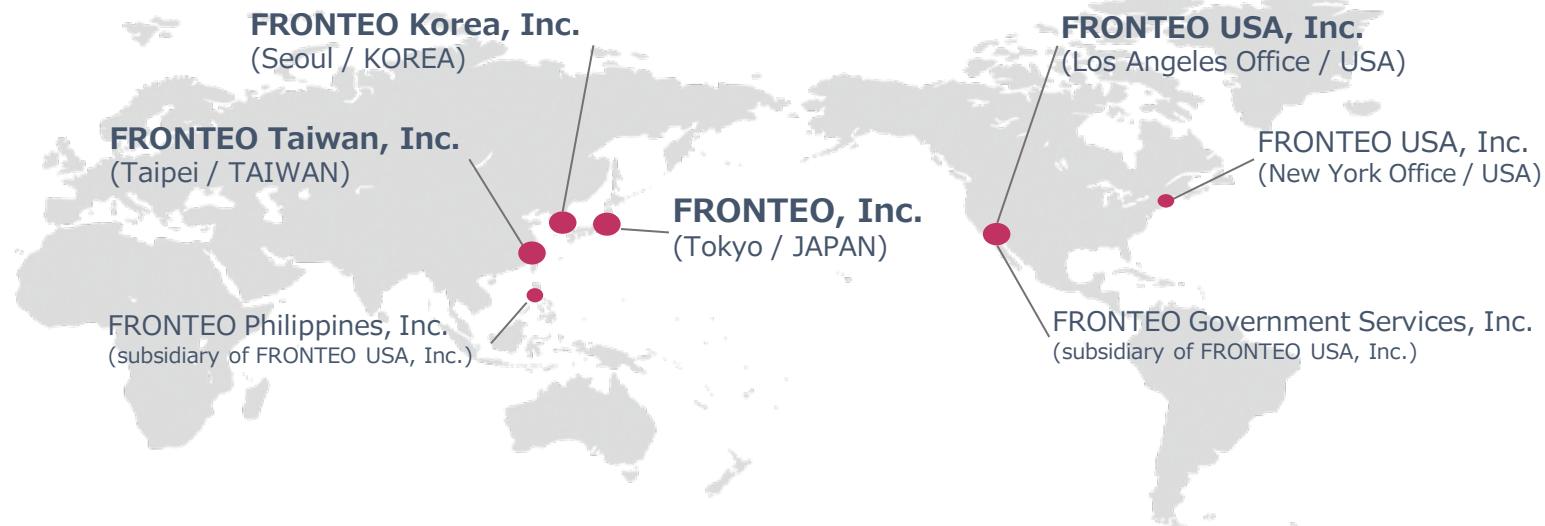


01	会社概要	3
02	事業内容	13
03	ステージ4（中期計画） FY28のイメージ	21
04	2025年3月期 3Q決算ハイライト	23

- 01 会社概要
- 02 事業内容
- 03 ステージ4（中期計画） FY28のイメージ
- 04 2025年3月期 3Q決算ハイライト

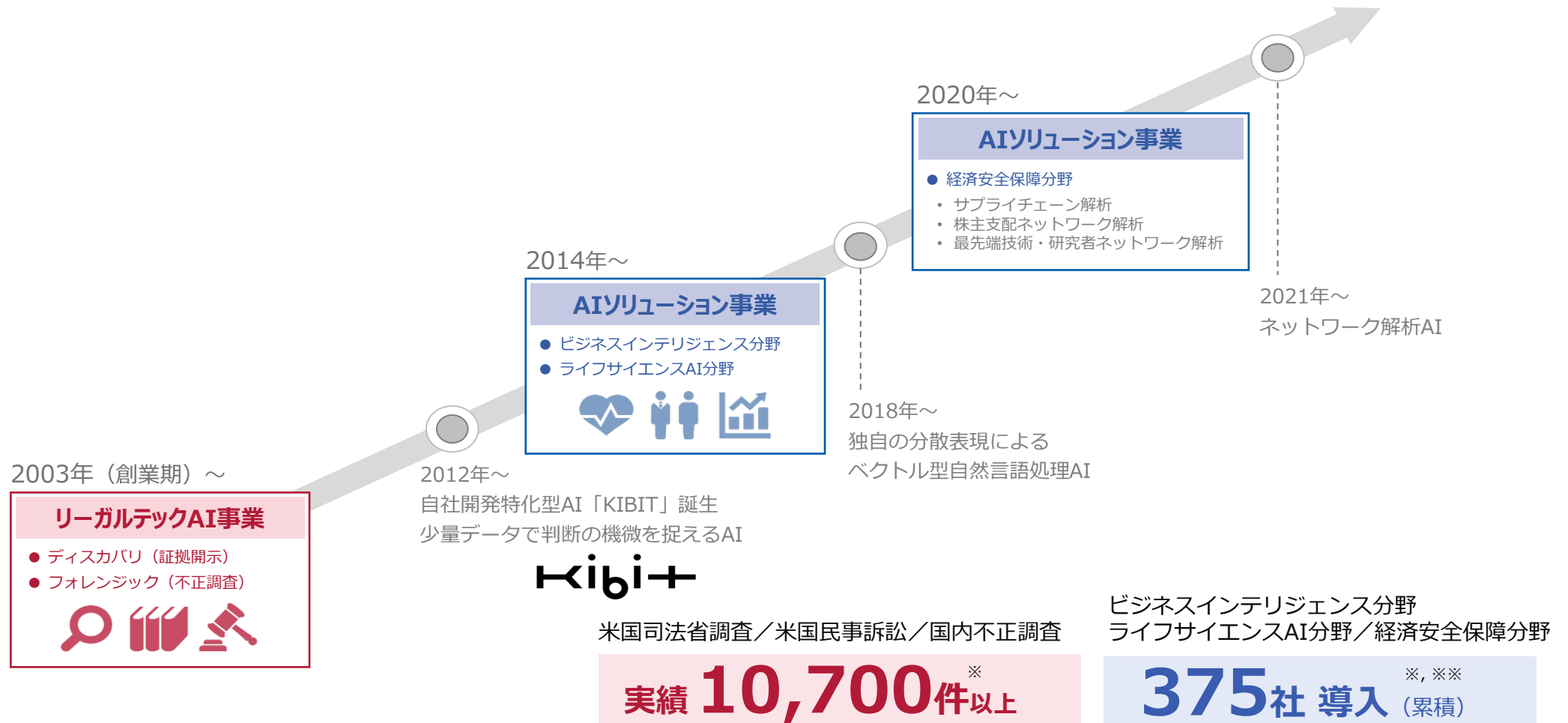
会社名：	株式会社FRONTEO
上場証券取引所：	東京証券取引所 グロース市場（証券コード：2158）
代表取締役社長：	守本 正宏
設立年月日：	2003年8月8日
資本金：	899,176千円（2024年12月31日時点）
従業員数(連結)：	225人（2024年3月31日時点）
事業内容：	自社開発の特化型AI「KIBIT」の提供を通じた、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断支援 (AIソリューション事業 <ライフサイエンスAI分野・ビジネスインテリジェンス分野・経済安全保障分野>、リーガルテックAI事業)
主要取引先：	民間企業（化学・機械・教育・金融・建設・小売・自動車・商社・情報通信・食品・製薬・電子部品・電力・保険など） 官公庁（法執行機関・各種監視委員会）、国内外法律事務所、医療機関

Global Offices



特化型AI「KIBIT」を基軸とした当社事業の変遷と実績

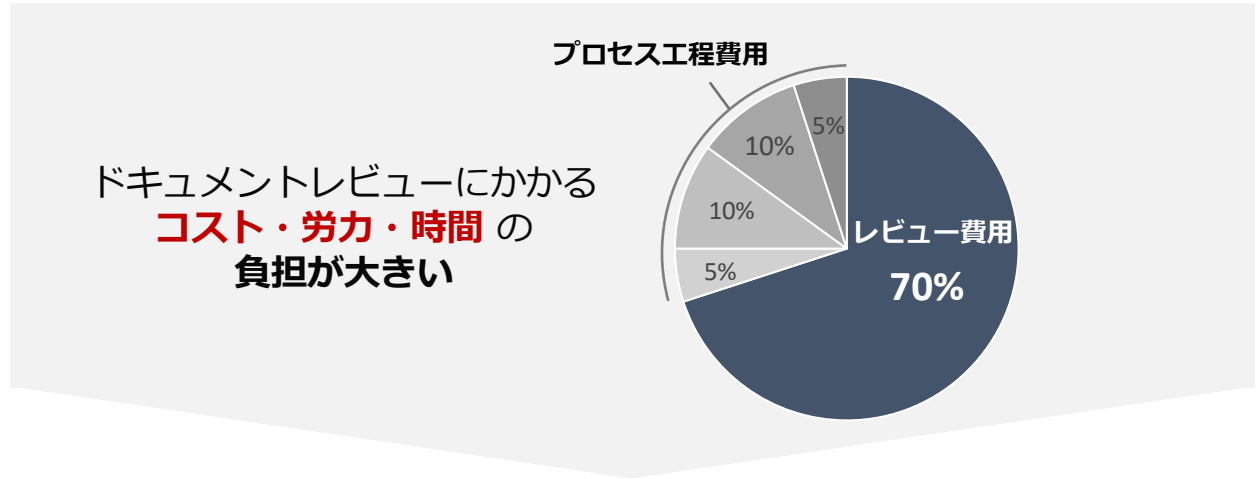
➤ 2012年の「KIBIT」誕生以降、事業領域の拡大及び課題の多様化に合わせた技術進化を継続



※2024年12月31日時点 ※※各製品・サービスの累計導入実績

大量の電子データから訴訟に関連しそうな証拠を発掘する独自技術の開発が前身

普通のメール	不正示唆のメール
今日の夜、どうですか？ 送信日時： 2023/07/07(金)15:00 宛先： ○○さん ○○さん お疲れ様です。○○です。 今日の夜、ご予約ありますか？ 久々に飲みにも行けないかと思いま して。 駅前の居酒屋に8時くらいはどうす か？	今日の夜、どうですか？ 送信日時： 2023/08/08(火)14:30 宛先： ○○さん ○○さん お世話になってます。●●の○○です。 最近はいかがですか？ もし良ければ、今日にでも飲みに行きま せんか？ 前回から時間も経っていますし、またお 話できればと思います。 いい個室の居酒屋を見つけたので、そ にしましょう。 △△さんも誘ったほうがいいですかね。



AIによるレビューの自動化

特化型AI「KIBIT」の提供を通じて、日夜社会課題と向き合う各分野の専門家を科学的に支援

社会課題

訴訟 不正 コンプライアンス 経済安全保障 技能伝承 病気 事故

解決の努力

専門家



自然言語による判断
(会話、文書、論文)

専門家自らが
理解する仮説生成

判断支援

NLP AI 特許取得済み



豊富な社会実装経験

マップ化する技術 特許取得済み



特化型AI「KIBIT」とは

「KIBIT」の特徴

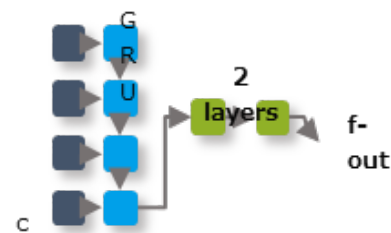
- 自然言語処理、ネットワーク解析に利用可能な軽量・高速・高性能な独自開発AI
- 省電力で環境負荷の小さいGreen microAI
- 少量の教師データでも性能を発揮する独自アルゴリズム搭載
- 判断根拠を直感的にビジュアライズ
- 世界で**84件**の有効特許登録(2024年12月31日時点)

Green microAI

数学的アプローチで開発された、軽くて高性能なAI

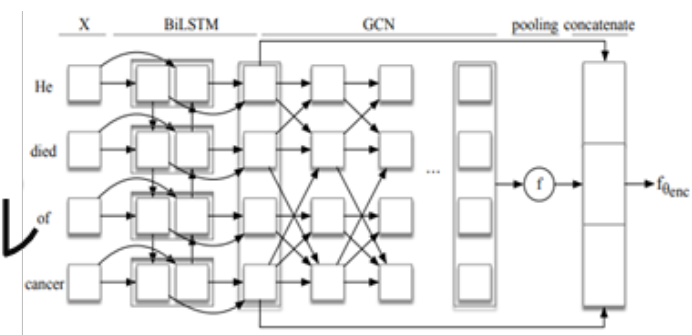


Kibi+
モデル



400分の1の構造

GCE
モデル



4x100 layers

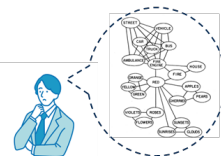
※1 Energy and Policy Considerations for Deep Learning in NLP, College of Information and Computer Sciences University of Massachusetts Amherst (Jun 2019) から抜粋

※2 日本のCO2排出量及び日本の人口からFRONTEO作成 ※3 ※1の論文と同様の計算方法により、FRONTEO作成

設計思想の違い

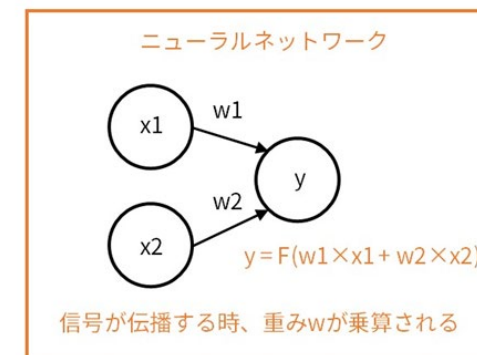
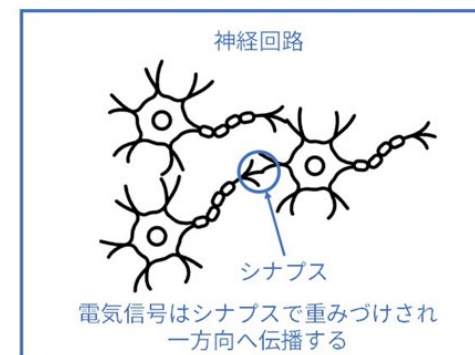
KiBi+

- ・ 人間の子供が新しい言葉を学ぶ過程
- ・ 人が思考を発展させる過程



人の学び、思考過程を創造する

一般的なAI

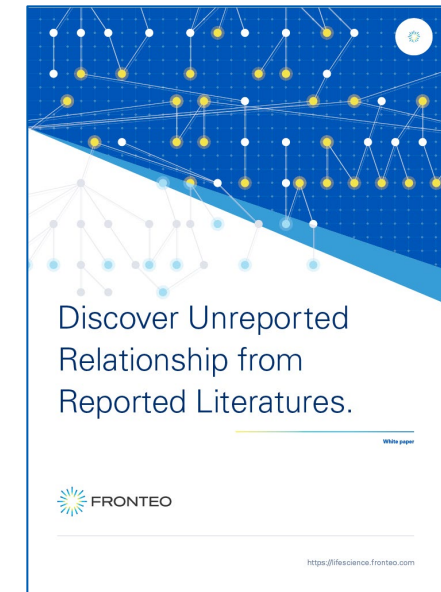


脳(神経ネットワーク)を創造する

- 既知の文献情報から未知の関連性を発見する独自技術を活用した標的探索やドラッグリポジショニング等を支援するAI創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory(DDAIF)」を推進
- KIBITが2022年までのシュプリンガーネイチャー掲載文献から予測した未知の創薬標的について、2024年の新しい文献で疾患と遺伝子の関連性が明らかになる
- 解析に論文の質は影響を受けない



ホワイトペーパー



URL : <https://lifescience.fronteousa.com/whitepaper1>

大手企業を中心に導入

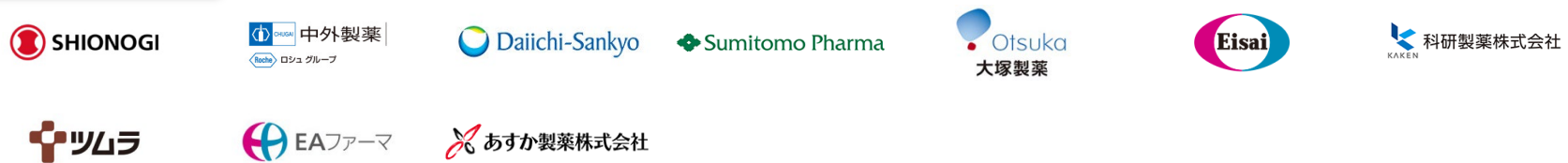
金融機関



製造業



製薬企業



サービス業



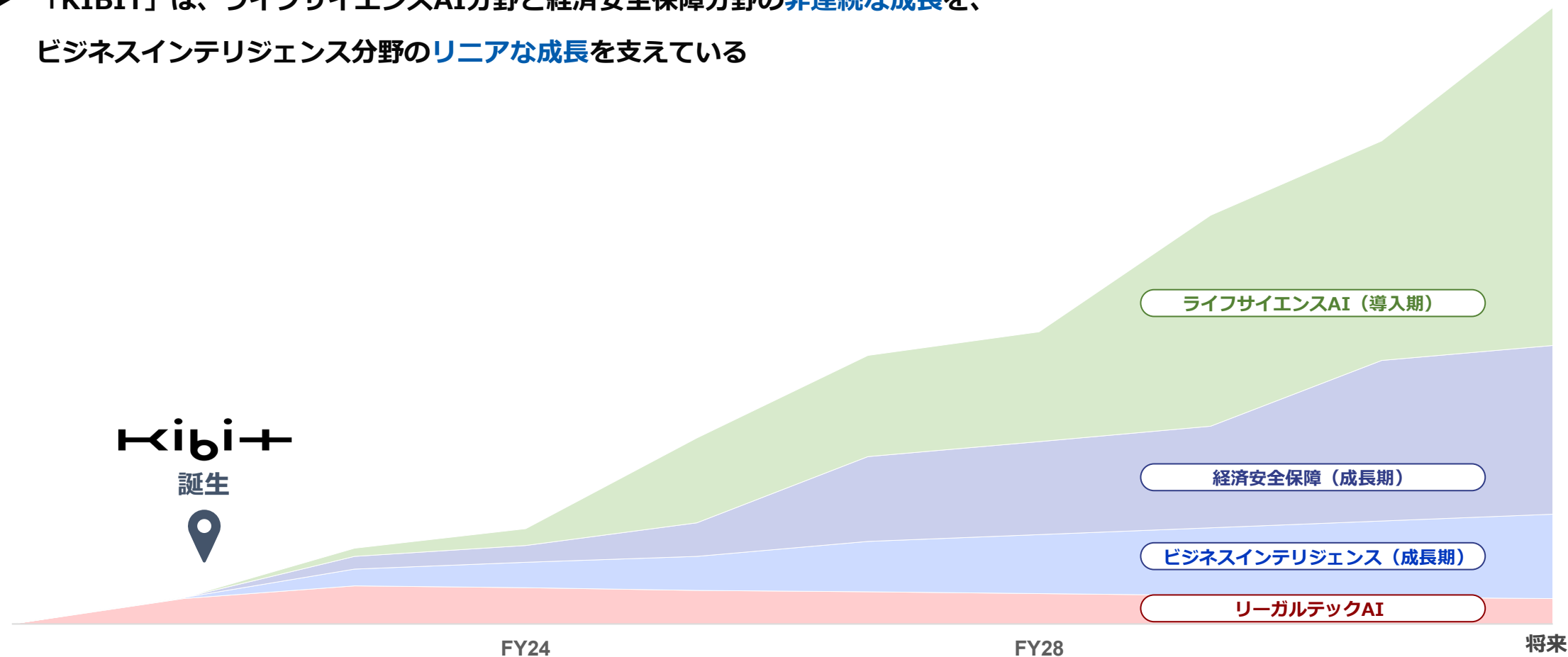
大学・研究機関



(一部掲載、順不同)
※2024年12月3日時点

KIBITを起点とする主力事業の転換

- 今期よりAIソリューション事業（ライフサイエンスAI、経済安全保障、ビジネスインテリジェンス）を当社の主力事業として位置付け
- リーガルテックAI事業のeディスカバリにおける大量の電子データから証拠を発掘する独自技術が前身となり「KIBIT」が誕生
- 「KIBIT」が搭載されたAIアプリケーションを、AIソリューション事業へ展開
- 「KIBIT」は、ライフサイエンスAI分野と経済安全保障分野の**非連続な成長**を、ビジネスインテリジェンス分野の**リニアな成長**を支えている



- 01 会社概要
- 02 事業内容
- 03 ステージ4（中期計画） FY28のイメージ
- 04 2025年3月期 3Q決算ハイライト

AI創薬とAI医療機器 2領域で事業展開

AI創薬

- 「Drug Discovery AI Factory」による仮説生成に特化した創薬支援事業



AI医療機器

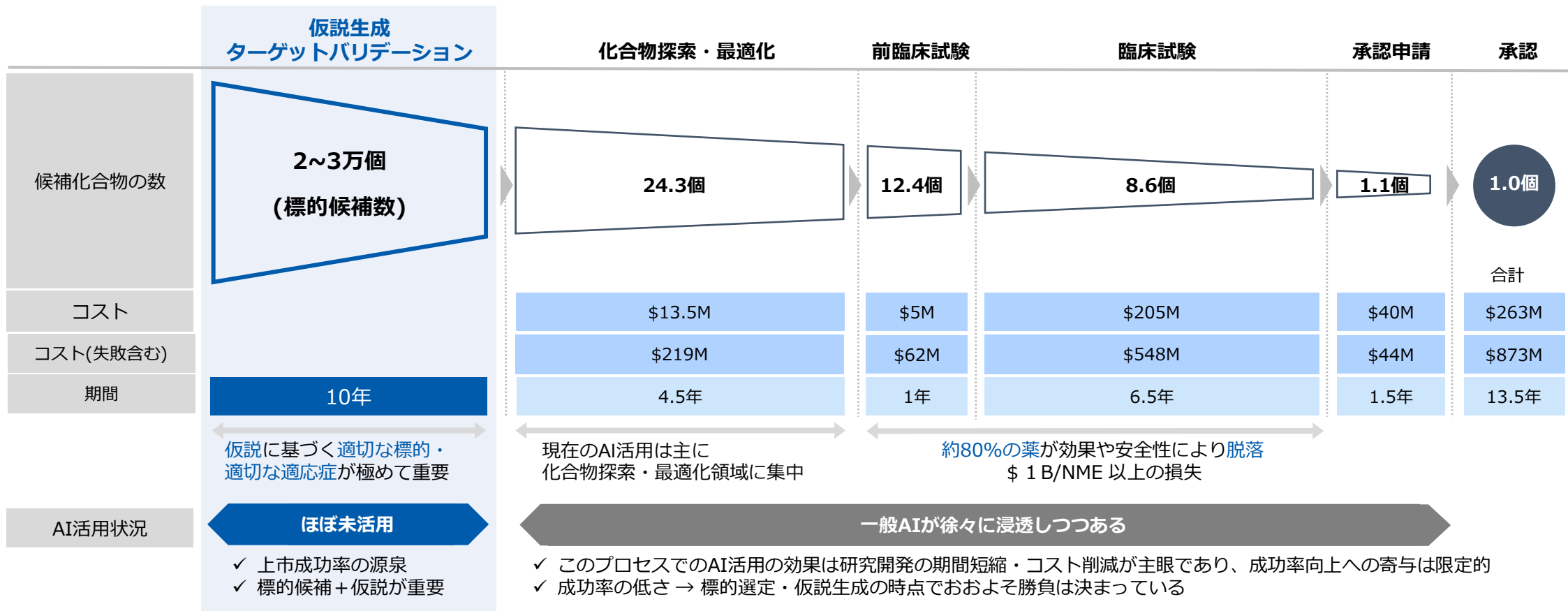
- 医療機器プログラムⅡに該当するプログラムを提供
※保険収載を想定

【開発中の製品】

- 会話型 認知症診断支援 AIプログラム
- 統合失調症診断支援 AIプログラム
- うつ病診断支援 AIプログラム
- ADHD診断支援 AIプログラム



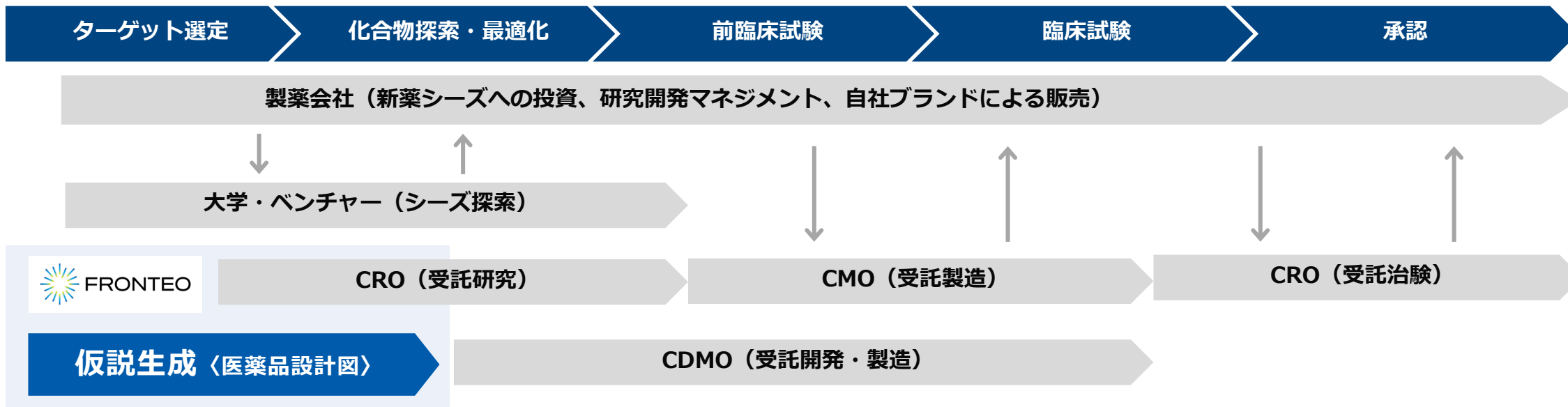
➤ 創薬研究初期の探索研究領域でAI創薬支援サービス Drug Discovery AI Factory (DDAIF) を提供し、医薬品開発の成功率向上に貢献



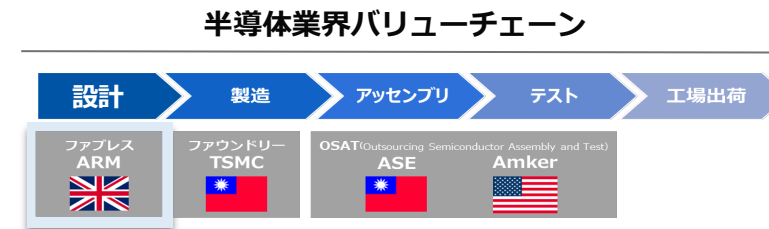
FRONTEO
Drug Discovery AI Factory (DDAIF)

医薬品開発業界のバリューチェーンに新たな工程（仮説生成）

- 既知の文献情報から記載のない未知の関連性を発見する独自技術を用いて、疾患関連性の高い未報告の標的分子を抽出する事により高品質な**仮説生成のハイスループット化**を実現



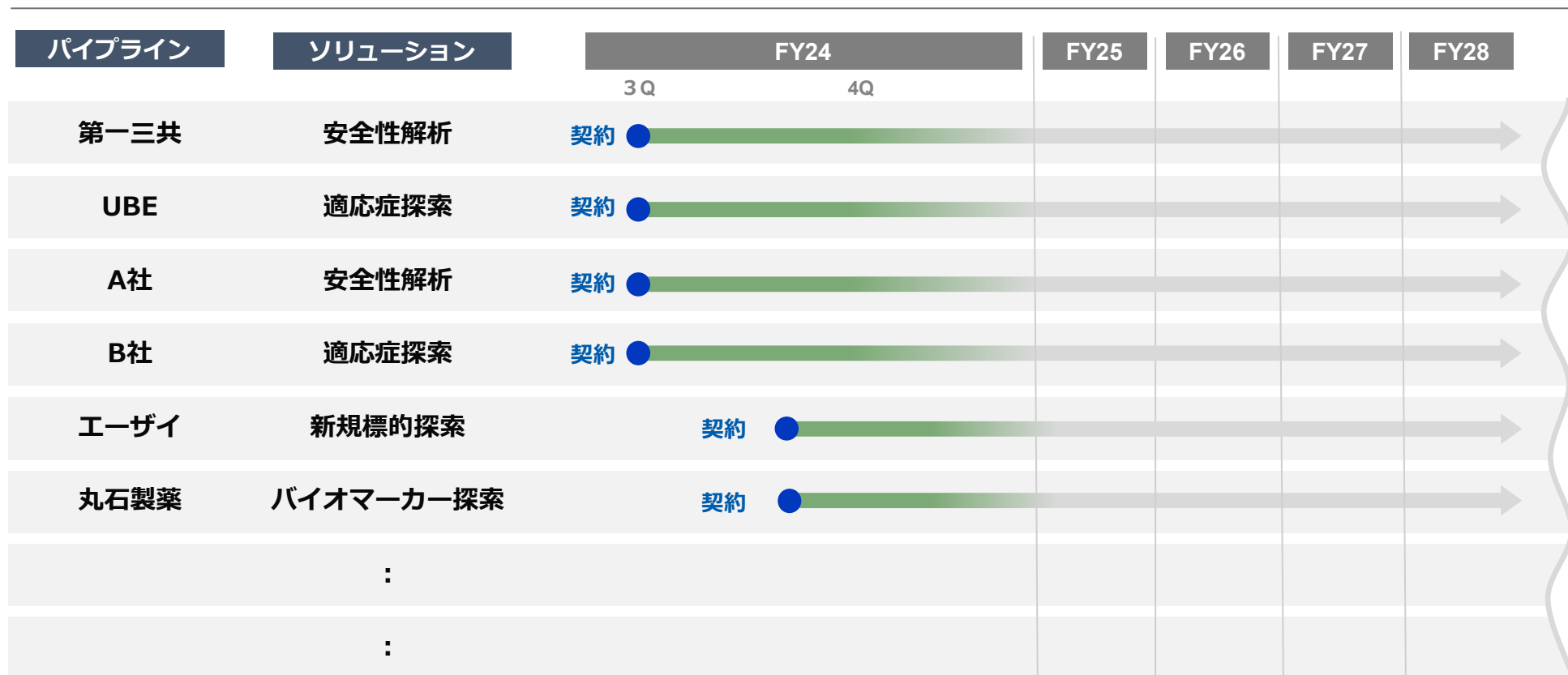
FRONTEOが医薬品業界の**設計工程**を担い、半導体業界の**ファブレス企業**と同等に位置づけられ、創薬における**ボトルネックの飛躍的改善**に貢献



ライフサイエンスAI分野 AI創薬領域 : パイプライン

- 3Q以降より共創プロジェクト*の提供を開始し、KPI**3件を大幅に上回る形で進行中（3Q終了時点で6件成約済み）
- 足元では、その他複数社との契約に向けて交渉中

アライアンスのパイプライン



* 共創プロジェクトとは、製薬企業と当社の研究チームが協調し新規標的探索や適応症の探索、バイオマーカー探索等、個別の研究開発を実施する形態

**AIソリューション事業 ライフサイエンスAI分野のAI創薬領域のステージ 4 達成に向けてのKPI

会話型 認知症・うつ病診断支援AIプログラムの提供

- 会話型 認知機能検査用AIプログラム医療機器について、PMDAとの対面助言が終了。臨床試験の開始に必要な治験届提出に向けてFRONTEOと塩野義製薬で準備開始。本プログラムは、厚生労働省より「プログラム医療機器に係る優先的な審査等の対象品目」に指定された
- 他疾患を対象としたアライアンス及び非医療機器の産業横断アライアンス協議が進行中



自然言語処理AI x 専門領域における事業展開

コンプライアンス監査領域	技能伝承/プロフェッショナル領域		
コンプライアンス部	工場・建設現場	営業部	コールセンター
			
コンプライアンスリスク検知AI	技能伝承AI 危険予知AI	営業チャンス発見AI	苦情分類・要望抽出AI

コンプライアンス監査領域における弊社ソリューション導入率

メガバンクグループ導入率 100%

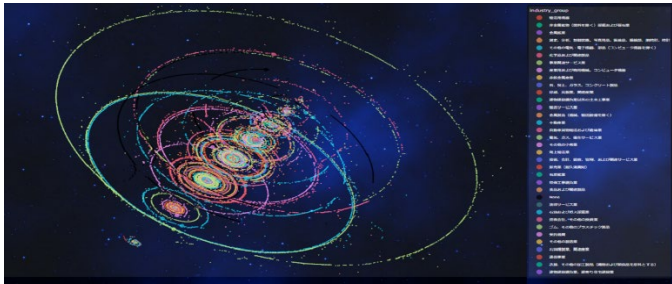


大手5社証券会社導入率80%

経済安全保障分野における経営判断を支えるAIの3つの機能

Kibi+ Seizu Analysis

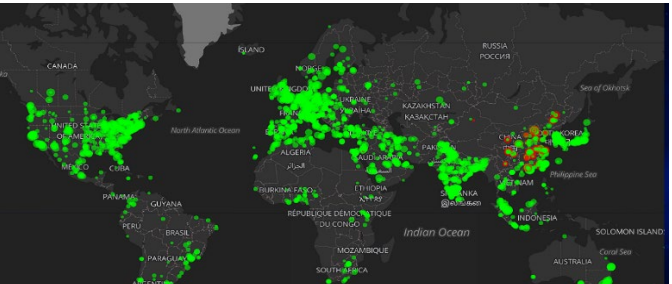
サプライチェーン
ネットワーク



株主支配ネットワーク



技術者ネットワーク



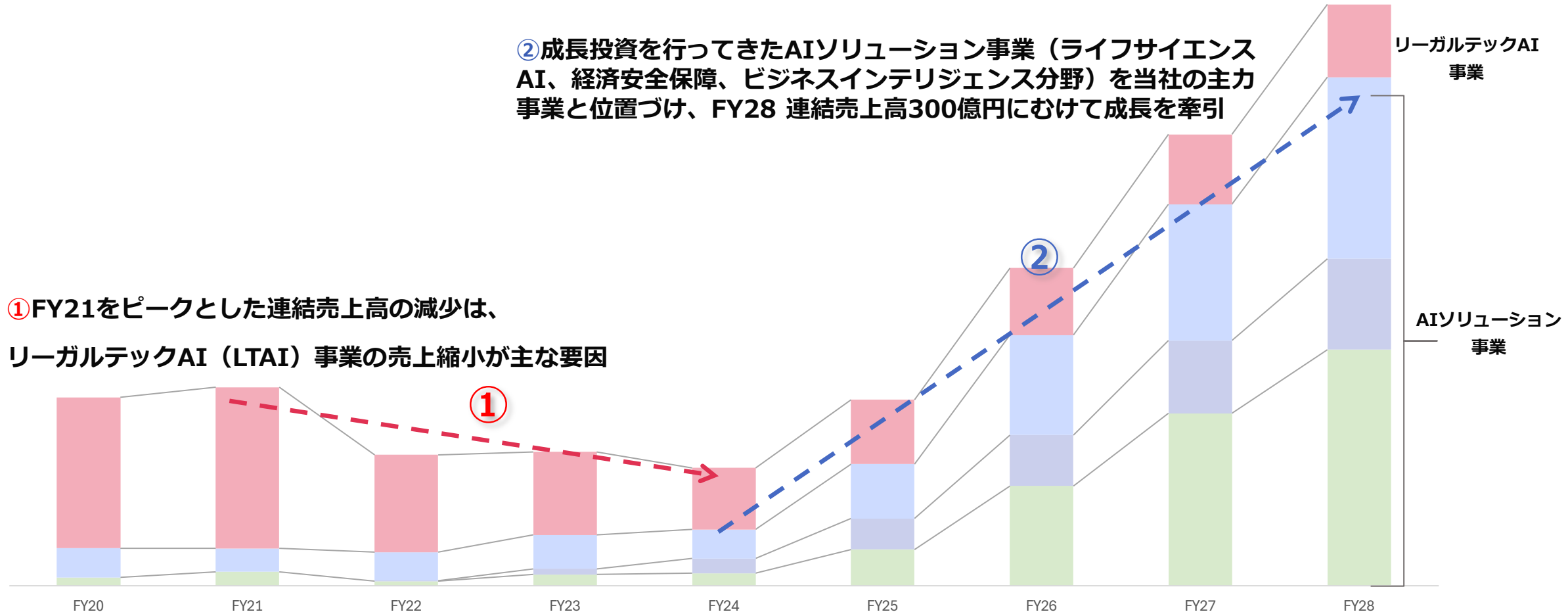
- 01 会社概要
- 02 事業内容
- 03 **ステージ4（中期計画） FY28のイメージ**
- 04 2025年3月期 3Q決算ハイライト

AIソリューション事業をステージ4*の主力事業と位置づけ、
分野別の成長種別(リニア/非連続)とその成長因子を明確にし、経営資源の選択と集中を徹底

■ ライフサイエンス分野 ■ 経済安全保障分野 ■ ビジネスインテリジェンス分野 ■ リーガルテックAI

② 成長投資を行ってきたAIソリューション事業(ライフサイエンスAI、経済安全保障、ビジネスインテリジェンス分野)を当社の主力事業と位置づけ、FY28 連結売上高300億円にむけて成長を牽引

① FY21をピークとした連結売上高の減少は、
リーガルテックAI(LTAI)事業の売上縮小が主な要因



*ステージ4：成長可能性資料参照

-
- 01 会社概要
 - 02 事業内容
 - 03 ステージ4（中期計画） FY28のイメージ
 - 04 2025年3月期 3Q決算ハイライト

2025年3月期 第3四半期決算ハイライト

- 3Qまでの業績進捗を踏まえ、2024年8月14日に公表した**2025年3月期通期連結業績予想を上方修正**
- 連結営業利益は、前年同期比の営業赤字から1,130百万円的大幅増益となり、**449百万円**で着地
- 四半期単位での黒字化が定着し、成長分野である**AIソリューション事業への投資を拡大**
- リーガルテックAI事業のダウントレンドを、AIソリューション事業の売上高**26%成長**（前年同期に認識した特殊要因⁽¹⁾を除き）及び営業利益の成長が上回り、**196百万円**で着地
- 2月14日の取締役会にて、2025年3月末で米国子会社（FRONTEO USA, Inc.）のリーガルテックAI事業からの撤退を決議

全体	AIソリューション事業	リーガルテックAI事業
連結売上高 4,729百万円 （前年同期比：▲8.7%）	売上高 1,883百万円 （前年同期比：+1.5%）	売上高 2,845百万円 （前年同期比：▲14.3%）
* 売上高は特殊要因 ⁽¹⁾ を除くと前年同期比+26%成長		
連結営業利益 449百万円 （前年同期比：+1,130百万円）	営業利益 196百万円 （前年同期比：+396百万円）	営業利益 253百万円 （前年同期比：+733百万円）

(1) ビジネスインテリジェンス分野：大型案件ライセンス買取による収益を一括計上

2025年3月期 通期連結業績予想を上方修正（2025年3月期 2度目の上方修正）

- 通期連結業績予想 売上高を6,100百万円（▲400百万円）とし、**営業利益523百万円に上方修正（+123百万円）**
- AIソリューション事業：
 - 売上高、営業利益ともに拡大基調を維持、利益率も高水準で推移し期初予想を上回る進捗
 - **営業利益の通期連結業績予想を上方修正**
- リーガルテックAI事業：
 - 米国子会社のeディスカバリー支援事業からの撤退により4Qで特別損失を計上するものの、法人税等調整額（益）の計上により当期純利益への影響は限定的

(百万円)	FY24 期初予想	FY24 前回修正予想	FY24 今回修正予想	対前回予想比	増減率
売上高	6,500	6,500	6,100	▲ 400	▲6.2%
（AIソリューション事業）	3,100	3,100	2,700	▲ 400	▲12.9%
売上高比率	47.7%	47.7%	44.3%		
（リーガルテックAI事業）	3,400	3,400	3,400	0	
売上高比率	52.3%	52.3%	55.7%		
営業利益	105	400	523	123	30.8%
営業利益率	1.6%	6.2%	8.6%		
（AIソリューション事業）	100	100	300	200	200.0%
（営業利益率）	3.2%	3.2%	11.1%		
（リーガルテックAI事業）	5	300	223	▲ 77	▲25.7%
（営業利益率）	0.1%	8.8%	6.6%		
経常利益	110	420	553	133	31.7%
当期純利益	30	320	490	170	53.1%



お問い合わせ先 株式会社FRONTEO
email: ir_info@fronteo.com

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。